

不祥事根絶に向けた校内研修

校種：小学校

1 研修テーマ

(1) テーマ1

「事例を踏まえた不祥事防止に向けた具体的な取組について（当事者意識の醸成）」

(2) テーマ2

「教職員間における円滑な人間関係づくり（連帯感の醸成・モラルアップ）」

2 研修テーマ設定のねらい

県内教職員における懲戒処分が増加している状況を鑑み、当該教育事務所不祥事根絶に向けたキーワード「切実感・当事者意識・連帯感」を踏まえ、本テーマを設定した。

3 研修実施までの流れ（準備）

(1) 研修時間及び場所の確保

研修を設定できる時間及び場所を確保するために、教頭及び教務主任を中心に計画する。（本実践では7月下旬終業式後の午後に本校体育館で実施した。）

(2) 資料の準備

教頭を中心に本研修テーマに沿った資料を準備する。（別添資料2種類各1枚及び封筒1枚を全職員に配付）

4 研修当日の流れと時間配分（総時間：約45分）

(1) 4人一組のグループ作り（1分）

体育館に4人一組に向かい合った席を人数分用意し、職員は自由に座る。

(2) 今日のテーマの提示とねらい（1分）

進行（教頭）から本研修のねらいと流れについて説明をする。「前半は具体的事例についてグループ協議、後半は職員全員のモラルアップに向けた活動を行う。」

<テーマ1>

(3) 具体的事例に関するグループ協議（15分）

資料に沿って進行が3つの事例を説明後、グループ内で一つの事例を選び、不祥事を起こした際の対応及び再発防止策について話し合う。

(4) グループからの報告及び共有（15分）

各グループでの協議について報告し合い、3つの事例に関する具体的な対応及び再発防止策について共有する。

<テーマ2>

(5) 職員への「あなたの素敵どころ、応援メッセージ」を作成（13分）

ア メッセージを記入（4分ごとに回し渡す）

メッセージカード上部に自分の氏名を記入した後、時計回りに同カードを渡しながらか手元にある職員に対するメッセージを記入する。

記入順の最後の職員は、記入が終わったらメッセージカードを封筒に入れる。

イ メッセージを受け取る（1分）

進行は、自分の同カードが届いたら、研修終了後に封を開けてメッセージを受け取るよう指示をする。

5 研修で活用した資料（別添資料参照）

- ・ 事例説明資料1枚
- ・ メッセージカード1枚
- ・ メッセージを入れる封筒1枚

6 研修参加者の声

- ・ 飲酒運転については日頃から気をつけているが、酒が抜けきらない状態で乗り物を運転することの恐ろしさを改めて感じる事ができた。絶対しないようにする。
- ・ 日頃からテストやプリントの処理は効率的に行っているが、以前は事例のようなことをしていた。個人情報について再確認した。未処理のテストなどの保管も気をつけようと思う。
- ・ 年度初めや学期初めなどは、保護者から集める調査票なども多く煩雑になりがちだった。今後は、整理ボックスなどを活用して紛失など起こさないよう気をつけたい。
- ・ メッセージカードを読んで、〇〇さんが私のことを気にかけてくれていたことを知り、とてもうれしく思った。
- ・ 自分では当たり前にしてきた授業準備なども、メッセージカードを読んで私が取り組んでいることを認め、取り入れてくれていたことを知りびっくりした。私もまわりの方のことをもっと気にかけてよいことは真似していきたい。
- ・ 家族以外の人から、私のよいところや素敵なメッセージをもらうのは初めてで、心がとても温まりました。これからも楽しく仕事をしていけそうな気がしています。

7 研修の成果と課題

(1) 成果

- ・ 小グループでの話し合いを通じて、不祥事に対するお互いの考えを共有しながら再発防止策などの具体的な取組を全職員で再確認することができた。
- ・ モラールアップに向けた活動では、普段ではわかり合えない思いやりや優しさを文章から感じ取ることができたことで、職員間の雰囲気がより和やかになり、教育活動の活性化への一助となった。

(2) 課題

- ・ 時間と場所の確保が限られるため、複数回実施することは難しい。時機をみてより効果的なタイミングを選び実施する必要がある。
- ・ モラールアップの活動は、職員間の関係や職場内の雰囲気によっては逆効果になる可能性も考えられることから慎重に扱う必要がある。